

登録コード	E4604900	開講年度	2026			
授業科目	国語科授業研究論				担当教員	八木 雄一郎
英文授業名	Methodology of Lesson Study of Japanese Language Education(Junior High School)				副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	火曜・3時限	対象学生
講義室	教育N 2 0 1 講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				⇔	・中等国語科教員としての専門知に立った教養と教育理念とを獲得することができる。
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				⇔	・中等学校国語科教員に求められる対話能力、協調性、課題遂行能力を涵養することができる。
(2)授業で学べる「テーマ」	キャリア					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	①学習指導要領における「話すこと・聞くこと」「書くこと」の系統と指導内容・指導事項について熟知する。 ②話し合いやプレゼンテーション、ディスカッション等の授業を行うにあたり教師が備えておくべき知識、認識、技能を身につけられるようにする。 ③説明的な文章、文学的な文章、感想文等の授業や活動を行うにあたり教師が備えておくべき知識、認識、技能を身につけられるようにする。					
(5)授業計画	第1回：オリエンテーション①（音声言語と文字言語との共通点・相違点） 第2回： 新学習指導要領における「話すこと・聞くこと」の取り扱い。 第3回： 中学校における「話すこと・聞くこと」の教材と活動 第4回： 高等学校における「話すこと・聞くこと」の教材と活動 第5回： 「話すこと・聞くこと」活動ロールプレイ～教師の役割を考える～ 第6回： オリエンテーション②（人間にとって「書く」とは何か） 第7回： 説明的な文章を書くための思考法 第8回： 文学的な文章を書くための思考法 第9回： 感想文を書くための思考法 第10回： 「話すこと・聞くこと」学習指導の歴史 第11回： 「書くこと」学習指導の歴史①（明治期～大正期） 第12回： 「書くこと」学習指導の歴史②（昭和期～現在） 第13回： 「話すこと・聞くこと」学習指導の展望 第14回： 「書くこと」学習指導の展望 授業アンケート 定期試験					
(6)成績評価の方法	毎回の授業課題における取り組みと学期末の単位認定課題（試験の場合あり）により、以下のレベルで評価する。 ・課題への対応：40点 ・授業時での活動：30点 ・最終レポート：20点 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可					
(7)成績評価の基準	毎回の授業課題における取り組みと学期末の単位認定課題（試験の場合あり）により、以下のレベルで評価する。 秀：学習指導要領の内容を熟知し、講義内容をきわめて高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題演習に取り組み、高度な活動成果を示している。 優：学習指導要領の内容を理解し、講義内容をよく理解するとともに、積極的な探究姿勢をもって課題演習に取り組み、良好な活動成果を示している。 良：学習指導要領の内容をだいたい理解し、講義内容をほぼ理解するとともに、与えられた課題演習に誠実に取り組み、円満な活動成果を示している。 可：学習指導要領の内容の少なくとも一部を理解し、講義内容の一部を理解するとともに、与えられた課題演習の一部は誠実に取り組み、部分的に努力の認められる活動成果を示している。 不可：可とすべき内容を満たさない。					
(8)事前事後学習の内容	・提出課題は原則として事前に示されるので、課外で行うこと。 ・授業時にも課題演習在り。 ・事後には課題を振り返り、コメントを求める。					
(9)履修上の注意	・学習指導要領の内容については事前に目を通しておくこと。					
(10)質問、相談への対応及び連絡先	空いた時間であればいつでもでも相談に応じます。 Mail：yagi_yu@shinshu-u.ac.jp TEL：026-238-4076					

【教科書】	中学校学習指導要領解説・国語編（文部科学省，2017年） 高等学校学習指導要領解説・国語編（文部科学省，2018年）
【参考文献】	授業時に指示する。